

令和8年産

大崎稲作情報 第3号

令和8年6月22日発行

宮城県米づくり推進大崎地方本部

大崎農業改良普及センター

TEL : 0229-91-0726 FAX : 0229-23-0910

<https://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

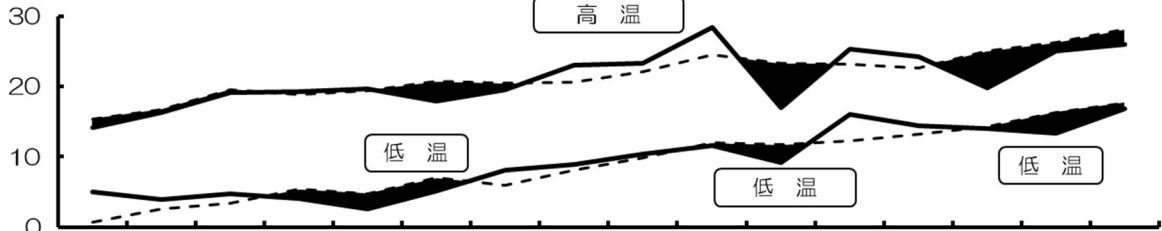
今後の管理のポイント

- ✓ 目標茎数に達したほ場もありますが、生育の遅れているほ場が多いです。各ほ場で茎数を確認の上、中干し時期を決定しましょう。
- ✓ いもち病の早期発見・早期防除に努めましょう。
- ✓ 本田および畦畔の雑草管理を徹底し、斑点米カメムシ類を抑えましょう。

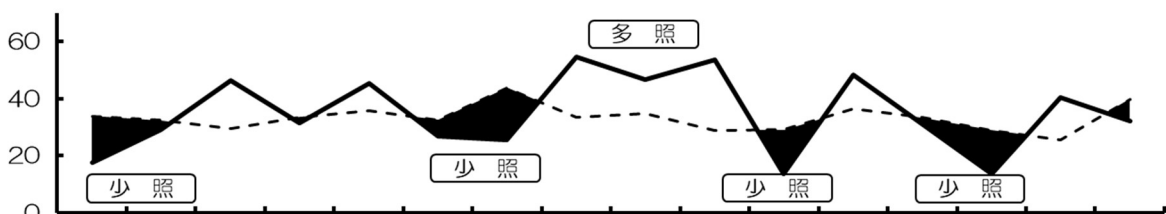
1 気象経過（前5か年間平均値との比較）

6月第2半旬から第4半旬の気温は低温傾向であり、日照時間も比較的長く推移しました。降雨は6月に入って以降概ね平年並みに推移しています。東南北部は6月20日に梅雨入りし、平年より8日遅く、昨年より3日早くなりました。

最高・最低気温（℃）



日照時間（時間）



降水量（mm）

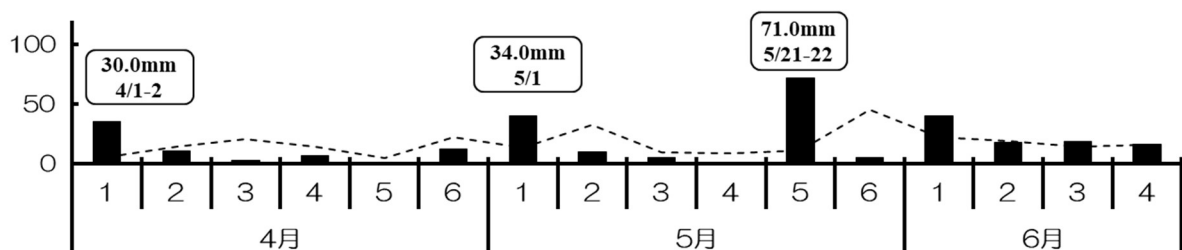


図1 4月～6月第4半旬の気象（古川アメダス）※前5か年平均値との比較

2 生育概況（6月19日現在）

6月第2半旬以降は低温傾向で日照時間は比較的少なく経過したことから、移植のほ場ではすべての項目で平年を下回っています（移植ほ場の茎数平均の平年比は前回 96%、今回 95%）。5月上旬田植えでは目標茎数に達したほ場もあり、分けつきの発生も順調です。

大崎市古川の乾田直播ほ場は、5月第2～第4半旬が高温傾向だったため、生育が順調に進ん

でいます。

表1 生育調査結果

栽培様式	品種名	地区名	前作	田植日 播種日 (平年・前年差)	6月20日				
					茎数 本/m ² (平年・前年比)	草丈 cm (平年・前年比)	葉色 GM (平年・前年差)	生育量 茎数×草丈×葉色 (平年・前年差)	正規化 植生指数 NDVI (前年比)
移植	ひとめぼれ	大崎市三本木	水稲	5月5日 (+1)	448 (88%)	35.0 (85%)	41.7 (-3.3)	6.5 (65%)	0.44 (84%)
	ササニシキ	大崎市古川	水稲	5月10日 (+3)	345 (101%)	32.3 (90%)	41.8 (-2.2)	4.7 (93%)	0.35 (78%)
	平均			5月7日 (+2)	396 (95%)	33.7 (88%)	41.8 (-2.8)	5.6 (79%)	0.39 (81%)
乾田直播	ササニシキ	大崎市古川	水稲	4月8日 (-20)	354 (186%)	27.8 (125%)	34.7 (+5.0)	3.4 (272%)	0.37 (105%)
		大崎市三本木	水稲	4月13日	217	28.0	38.6	2.3	0.37
	平均			4月10日	286	27.9	36.7	2.9	0.37

※田植日の+は遅いことを，-は早いことを示す。乾田直播はいずれもグレーンドリル鎮圧方式による。

※平年比・差は前5か年（令和3～7年）の平均値との比較。

※生育量は茎数/m²×草丈 cm×GM 値÷10万で求める指標で追肥判断等の目安となる（詳細は次号）。

※正規化植生指数は、ほ場管理者が契約する BASF 社ザルピオ®・フィールドマネージャーによる。

※大崎市古川乾田直播は昨年度から計測したため、前年値との比較。大崎市三本木乾田直播は今年度から計測。乾田直播の平均は今年度のもの。

3 今後の管理

1) 水管理 中干しは生育状況(茎数)を確認し、有効茎数に達したら行う

●中干し

中干しは、有効茎数（表2参照）に達したら行いますが、地域や移植時期で生育差が大きいため、茎数をほ場で確認の上、実施時期を決定しましょう。早すぎる場合は茎数・穂数不足となります。また、生育が平年並みのほ場では、中干しが遅れ、分けつ数（穂数）が過剰になると、籾へ充分に栄養が行きわたらず、白未熟粒の発生といった品質低下を招く原因となります。

＜中干しの主な効果＞

▶無効分けつの抑制

稲の窒素吸収が制限され、無効分けつの発生を抑えます。

▶耐倒伏性の向上

土壌を締め、下位節間の伸長が抑えられることで倒伏しにくくなります。

▶根の活力向上

土壌中に酸素を供給することで根腐れの原因となる有害物質を抑制し、根の活力を高めます。

●走り水（図2参照）

中干し終了後は走り水で飽水管理を行い、徐々に間断かん水に切り替えることで、根の活力維持に努めましょう（急に湛水状態にすると土壌の還元が進み、根が傷みます）。

＜目標茎数（＝穂数）の目安＞

ひとめぼれ	410本～460本/m ²
ササニシキ	480本～510本/m ²
だて正夢	360本～400本/m ²
つや姫	400本～440本/m ²

表2 1株当たりの有効茎数(本/株)の目安

		田植え時の設定株数(株/坪)		
		50	60	70
有効茎数 (本/m ²)	400	26	22	19
	450	30	25	21
	500	33	28	24

上表の「1株当たりの有効茎数」は、「有効茎数(本/m²)÷田植え時の設定株数(株/坪)÷3.3」により算出。

＜グレーンドリル鎮圧方式乾田直播の場合＞

ササニシキ	420本～460本/m ² (7/15茎数 590本～640本/m ²)
※普及に移す技術第99号参考資料より	

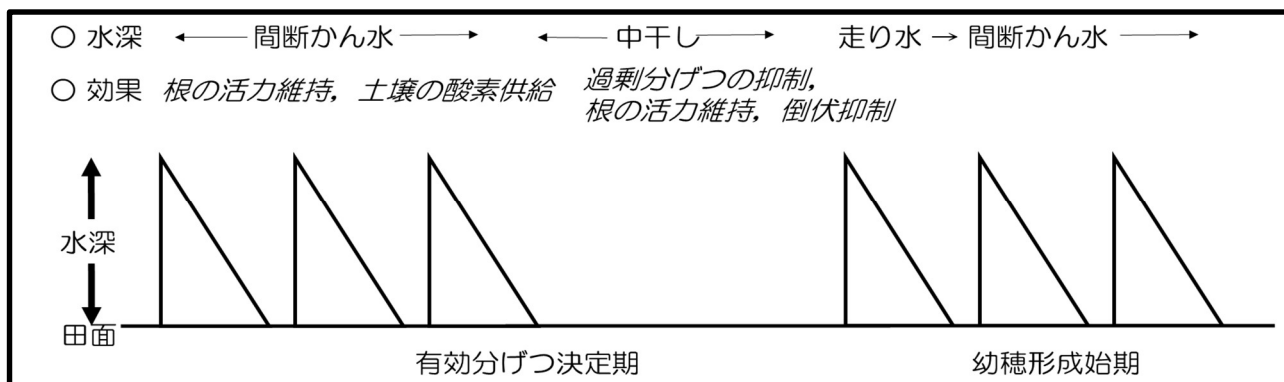


図2 今後の水管理

2) 病虫害防除

●いもち病

- ▶いもち病は、葉では円形～楕円形で灰緑色、水浸状の病斑を生じた後に、ひし形で中央部灰白色等の病斑が生じます。
- ▶近年は、いもち病による目立った被害は少なくなっていますが、湿度の高い曇雨天が続くことで発生しやすい条件となります。
- ▶ほ場を観察し、いもち病の早期発見・早期防除に努めましょう。本田で確認された場合は直ちに茎葉散布剤を散布しましょう。
- ▶乾田直播栽培等では、葉いもちのほか、穂いもちが多発する可能性があるため、防除の準備をしましょう。
- ▶古川アメダスのデータを基にした解析では葉いもちの感染好適日はありませんでしたが、鹿島台や築館等の近隣では感染好適日が確認されています。感染好適日は宮城県病虫害防除所のHPで確認できますので、予防防除の検討の際の参考にしてください。



葉いもちの病斑

<<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/blastam.html>>

●斑点米カメムシ類（雑草防除）

- ▶斑点米カメムシ類の発生を抑えるために畦畔の草刈りや水田の雑草防除を行いましょう。
 - ▶畦畔・牧草地などの草刈りは、水稻出穂期10日前までに行いましょう。
 - ▶アカスジカスミカメは、イヌホタルイやノビエを利用して水田内で繁殖します。イヌホタルイやノビエが残草している水田では、雑草防除を徹底しましょう。
- ※県内でクモヘリカメムシ、全国的にはイネカメムシといった大型カメムシ類の被害が増加しています。見慣れないカメムシ類のほ場侵入がみられた場合には、JA営農センターや当普及センターに御相談ください。



アカスジカスミカメ（成虫）

●紋枯病

- ▶紋枯病は、葉や葉鞘にて周縁部が緑褐色や褐色、内部は灰緑色や灰白色の楕円形の大きな病斑が生じます。
- ▶紋枯病は、前年の病斑上に形成された菌核がほ場に残り、翌年の伝染源となる土壌伝染性の病害で、多発すると
- ▶前年発生した水田では、穂ばらみ期に水面施用剤の施用、もしくは穂ばらみ期から出穂期の茎葉散布剤の施用を検討しましょう。
- ▶特に、気温が22～23℃を超え、株間湿度が高くなると発生しやすくなります。



紋枯病

東北地方 1 か月予報（6月20日から7月19日までの天候見通し）

令和8年6月18日 仙台管区气象台 発表※抜粋

<予報のポイント>

- ・期間のはじめは冷涼な空気が流れ込みやすく、気温がかなり低くなる見込みです。向こう1か月の気温は平年並か低いでしょう。
- ・太平洋高気圧に覆われやすいため、向こう1か月の日照時間は平年並か多いでしょう。

<向こう1か月の天候>

平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気 温】	東北地方	40	40	20
【降 水 量】	東北地方	30	30	40
【日照時間】	東北地方	40	30	30

<気温経過の各階級の確率（%）>

		低い	平年並	高い
1 週 目	東北地方	80	10	10
2 週 目	東北地方	30	50	20
3～4週目	東北地方	30	30	40

◆◆◆◆◆◆◆農薬危害防止運動実施中（6月1日～8月31日）◆◆◆◆◆◆◆

6月から8月にかけて、農作物等の病虫害が発生しやすく、農薬を使用する機会が最も多くなる時期です。農薬安全対策の不備や不注意等による事故が発生しやすくなるため、農薬使用による危害防止と環境に配慮した適正な農薬の使用を徹底しましょう。

運動のテーマ 「使用前、周囲よく見て ラベル見て」

★★

古川農試に設置されている生育モニタリングほ場（「だて正夢」・「金のいぶき」・直播栽培）や県内全体の水稻生育情報はこちらからご覧いただけます。

<<https://www.pref.miyagi.jp/site/seikuzyoho/index.html>>

★★



「大崎地域の稲作技術情報」、「大崎地域の大豆作技術情報」、「大崎地域の麦作技術情報」は、当普及センターのホームページでもご覧いただけます。インターネットで「大崎農業改良普及センター」と検索または右の QR コードを読み取ってください。

